

校長だより

和歌山市立八幡台小学校

2023.8.31

NO, 2 9

情報モラル教室

昨日は5年生を対象に情報モラル教室を開催しました。5年生の子どもたちは、真剣に白樫先生の話聞いて

ていました。先生の話にうなづきながら、時には「ええ！」と驚きながら、しっかりと聞いていたように思います。

今回、お話いただいた具体的な内容について記載したいと思います。

- 小学生でも「社会的な責任」を問われる時代
- 小学生も、被害にあったり加害者になってしまう可能性
- インターネット上の情報はコピーされると消すことはほぼ不可能
- インターネット:SNSは便利さとともに怖さもある
- スマホ、SNS:情報化社会において必要なもの **しかし、利用するための免許があるわけでもない→「人権意識」「自分を、なかまを大切に
する心」が極めて重要になる**

こういったことをいくつかの例を挙げ、わかりやすく教えてもらいました。特に、小学校や中学校でトラブルになっているのが「ライン」などSNSでのやり取りが生む「誤解」「一方通行の攻撃」「流れに乗った同調圧力がうむ攻撃」など、子どもたちの人間関係にひびが入るような出来事が起こっているようです。本来、合理的効果的に活用するべきものが、利用者の思い一つで危険なものに変わる。これは、子どもとともに私たち大人もしっかり認識しておかねばならないことだと感じています。

<子どもたちの感想>

- ・私たちはインターネット、AI技術のこわさやすばらしさを知りました。インターネットなどでは「かんちがい」でケンカになってしまうこともある。写真などを一回どうこうするとコピーされて消せない場合もあり、こわいと思いました。(中略)これから私たちにできるのは、フィルタリングなど危険なサイトをブロックできるように工夫したり、安全に生活できるようにすることも大切だと思いました。
- ・しらかし先生から話を聞いて、小学生のスマホ利用時間が65分でも長いというのはびっくりしました。(中略)中学生になって、グループラインとかに入ったら、言葉つかいに注意したいと思いました。